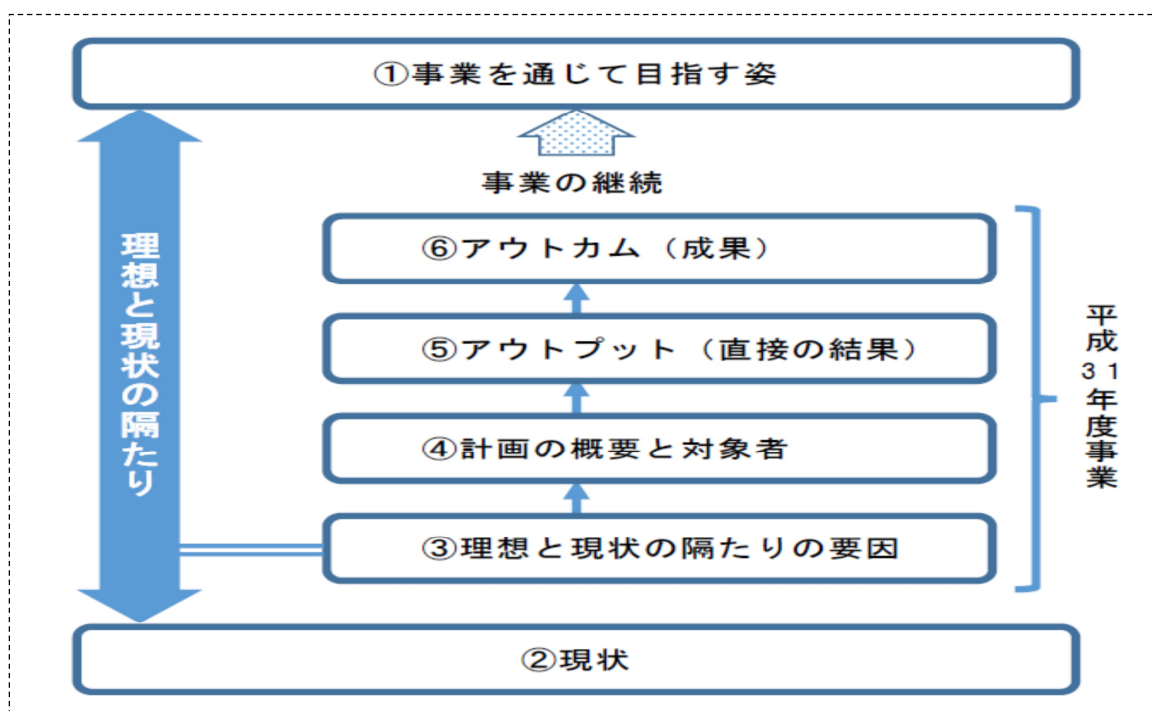


## 事業計画書

事業名	猫のレスキューを通して命の大切さを伝える『猫レスキュー活動』
団体名	倉敷猫まもりの会

### 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



### 1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

岡山県倉敷市における保健所への猫の持込による無用な殺処分をなくすため、現在行っている保護猫の譲渡事業の推進を積極的に行い、当会の理念である「倉敷市内で、《誰も望んでいない猫の殺処分》をなくす仕組みを作ること」を軸に猫の飼主に対する適切な飼育方法の指導や、責任をもって終生飼育できる里親希望者の選定方法を広めることにより、仕方なく猫を殺処分し続ける事がもたらす地域住民の心的負担や、飼猫による被害やトラブルを減らし、人と猫が共存できる街づくりを目指します。

## 2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

倉敷市保健所に於いては、平成 14 年には猫の収容数 1834 匹のうち年間 1829 匹が殺処分されていた。本格的にボランティア譲渡を始めた 25 年度は収容数 747 匹に対し殺処分数 606 匹、譲渡数 139 匹、28 年度は収容数 399 匹に対し殺処分数 147 匹譲渡数 251 匹と、処分を減らす事が出来た。しかし、春の子猫のシーズンでは一日に 30 匹から 40 匹持ち込まれる事もあり、現在の数名のボランティアだけでは引受ける数にも限度がありボランティアの負担も重くなって来ている。また、収容数は減少したものの近年は横ばいになってきたことから、レスキューの限界も感じている。

また、処分数の中には、保健所で収容後に亡くなった個体の数も含まれており、30 年度はいわゆる殺処分は行われておらず、収容後に亡くなった猫が処分数としてカウントされているのが現状です。

保健所に収容される猫のうち、生後数日～離乳前の乳飲み子の割合が非常に多く、まだ母猫の保護下にあるはずの乳飲み子はとても弱く、収容中に亡くなる猫もほとんどが乳飲み子です。保健所の職員さんも、とても協力的でお世話もしてくださるのですが、2～3 時間おきの授乳が必要であり、業務の合間にお世話をするだけでは、そのような子猫までは中々手が回らず、残念ながら今年もたくさんの乳飲み子が亡くなりました。同様に子猫も収容時には状態が悪い子が多く、乳み子、子猫が収容されますと当会へ連絡をくださるのですが、ボランティアの数も全く足りていないので、助けたいという気持ちはあっても一部の引き出しは出来ても、残りは保健所にお願いするしかない状況です。

ミルクボランティアが 1 人でも増えたら、殺処分数は必ず減少すると思います。

## 3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

保健所からもミルクボランティアの募集は、ホームページでして下さってはおりますがなかなか一般の方の目に留まらず、お問合せを頂いても、保健所の職員の数も足りておらず職員さんがボランティア育成の時間を取るのは大変難しいと思われる。

また、乳み子、子猫はミルクや医療費などの費用もかかり、生死に対しても大変不安な要素もあり、ボランティアに踏み切れない方も居ると思われる。

## 4 計画の概要と対象者（平成 31 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

保健所における猫の殺処分をなくすために、猫のレスキュー活動に興味を持っている市民を対象に預かりボランティア説明会を開催 ミルクボランティアを育成するための講習会の実施 定期的に譲渡会を実施 参加されたボランティアさんへのアンケートの実施 パネル展開催と啓蒙活動

### アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

<u>アウトプットとは</u>	事業の直接の結果であり，事業を通じて，どれだけの人に対し，どのようなサービスが提供されたかをいいます。
<u>アウトカムとは</u>	事業の成果であり，アウトプットが地域や社会，人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。
<u>アウトプットとアウトカムの関係</u>	事業を実施すると，まず， というアウトプットが生じ，次にその成果として， というアウトカムが生じる関係にあります。
<b>事業実施    アウトプット    アウトカム</b>	

### アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月 4 回，各回 20 名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1 千冊作成，800 人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週 2 回，各回 15 名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週 2 回，各回 5 名利用	移動手段の選択肢の増加

### 5 アウトプット(直接の結果)

平成 31 年度の事業を通じて，どれだけの人に対し，どのようなサービスを提供しますか。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 猫のレスキュー活動に興味を持っている市民を対象に預かりボランティア説明会開催</li> <li>2. ミルクボランティアを育成するための講習会の実施</li> <li>3. 定期的に譲渡会を実施</li> <li>4. 参加されたボランティアさんへのアンケートの実施</li> <li>5. パネル展の開催と啓蒙活動</li> </ol>
---

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
説明会実施回数・参加人数	0	2 回開催 / 15 人
預かりボランティア登録	0	5 人
講習会実施回数・参加人数	0	2 回開催 / 15 人
ミルクボランティア登録	0	5 人
譲渡会の開催回数	12 回	12 回

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

- ◆ 説明会、講習会の計画と実施。
- ◆ 毎月の譲渡会の開催
- ◆ 31年度譲渡数
- ◆ 預かり、ミルクボランティア参加人数
- ◆ 殺処分の減少数

## 6 アウトカム（成果）

上記5のアウトプットが、平成31年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

説明会の参加者に対して

- ・ 現状を知ってもらう
- ・ 年間1匹からでも預かりボランティアに参加してもらう
- ・ アンケートを行い改善を図る
- ・ 周りの知り合いに活動内容を広げてもらい、譲渡の推進を図る
- ・ 適切な飼育方法を学んでもらい、地域の猫トラブルを減らす

講習会の参加者に対して

- ・ 現状を知ってもらう
- ・ 年間1匹からでもミルクボランティアに参加してもらう
- ・ アンケートを行い改善を図る
- ・ 周りの知り合いに活動内容を広げてもらい、譲渡の推進を図る
- ・ 適切な飼育方法を学んでもらい、地域の猫トラブルを減らす

譲渡数（前年対比）

ボランティア参加人数（前年対比）

初年は、ボランティア育成期間とし、乳み子や子猫に掛かるミルクや消耗品のサポートは一年限りとする。

## 7 計画の詳細

### (1)具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

#### 1. 預かりボランティア説明会

猫が好きで、ボランティアに興味がある人を対象に説明会を開催する。

(生後 1.5 ヶ月以上の離乳済みの子猫を対象、子猫のお留守番時間が 5 時間以内の方)

現在の倉敷市保健所での猫の現状

適切な飼育方法を説明(完全室内飼い、避妊・去勢の必要性)

猫の預かりからお世話の仕方、里親の見つけ方の説明

個別相談

#### 2. ミルクボランティアを育成するための講習会の実施(実技の指導含)

猫が好きで、ミルクボランティアに興味がある人を対象に講習会を開催する。

(生後 0 日～授乳中の子猫を対象、3 時間おきの授乳、飼育が可能な方)

現在の倉敷市保健所での猫の現状

適切な飼育方法を説明(完全室内飼い、避妊・去勢の必要性)

猫の預かりからお世話の仕方、里親の見つけ方の説明

個別相談

#### 3. 譲渡会

インターネット等で告知し、預かりボランティアさんと猫に参加していただき、里親探しのお手伝いを行う。

また来場された希望者にも、適正な飼育方法を案内し、猫を飼うことによる地域トラブルを防ぐ。

#### 4. パネル展の開催

『赤ちゃん猫のすくいかた 小さな“いのち”を守る、ミルクボランティア』

### (2)スケジュール(準備～実施～報告)

4 月	ミルクボランティアを育成する為の講習会の実施
5 月	預かりボランティア説明会の開催
7 月	譲渡会の開催
8 月	預かりボランティア説明会の開催
9 月	ミルクボランティアを育成する為の講習会の実施

様式第 2 号

9月	譲渡会の開催
10月	譲渡会の開催
11月	譲渡会の開催 パネル展の開催 啓蒙
12月	譲渡会の開催
2月	預かりボランティア説明会の開催
3月	報告会

(3)実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
塩田陽子	野犬の保護や譲渡、猫の譲渡や TNR 活動 10 年以上継続	無
平賀由美	猫の譲渡や TNR 活動 5 年以上継続	無
戸張和子	猫の譲渡や TNR 活動 5 年以上継続	無
本西裕美子	猫の譲渡や TNR 活動 5 年以上継続	無
西律子	猫の譲渡や TNR 活動 5 年以上継続	無
富田和代	猫の譲渡や TNR 活動 5 年以上継続	無
10 名を超える場合は、外 名としてください		外 ( ) 名

5 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

( 1 ) 徴収する(見込み: 無 )

( 2 ) 徴収しない(理由: )

## 収支予算書

## 1 収入の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		0	
その他		61,000	
市補助金		300,000	
収入合計		361,000	(支出合計と一致)

## 2 支出の部

科目	内訳	金額(円) <sup>2</sup>	積算根拠
人件費(会員) <sup>1</sup>		0	
交通費(会員) <sup>1</sup>	ガソリン代	2,000	@500×4回
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)	講師料	20,000	2回講習会開催
旅費交通費(講師等)	運賃	0	
消耗品費	キャリーケース 貸与用	38,000	@3,780円×10
	ホットカーペット //	36,000	@3,580円×10
	ミルク	69,000	@1,364円×50
	シソジ <sup>o</sup>	30,000	2.5、5、10CC 各
	哺乳器	9,000	@890円×10
	ホットシート	8,000	@3,749×2
	毛布	10,000	@200×50
	用紙	1,000	A4
	インク	3,000	
印刷製本費		20,000	@200円×100部
保険料			
運搬費		20,000	パネル発送費
使用料・賃借料	施設使用料	5,000	講習会4回
外注費・委託費		90,000	チラシ制作(説明会、講習会、啓蒙)
対象経費計		361,000	
食糧費		0	

様式第3号

人件費		0	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		361,000	(収入合計と一致)

1: 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の1割を上限とする。

2: 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。



## 組織運営体制

団体名	倉敷猫まもりの会
ふりがな	くらしきねこまもりのかい
法人格( をつけてください)	任意団体・NPO 法人・一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他( )
CANPAN 登録の有無	有 ・ 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト  
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。

## 1 組織体制

任意団体活動開始年月	2013 年 4 月 (西暦)	
法人格取得年月	年 月 (西暦)	
事務所 所在地	倉敷市玉島 3-20-8	
代表者	職・氏名	代表 塩田 陽子
	電話番号	090 - 8600 - 4140 (連絡可能時間帯 全日)
ウェブサイト URL	<a href="https://ameblo.jp/haresoraame/">https://ameblo.jp/haresoraame/</a>	
活動地域	倉敷市内	
役員数・職員数計	6 名 (役員 名, 職員 名)	
設立年月	2013 年 4 月 (西暦)	
活動分野 (該当に をする) (複数回答可)	子ども・青少年・障がい者・高齢者・在日外国人・留学生・福祉・保健・医療・ 教育・学習支援・地域・まちづくり・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ 環境・エコロジー・災害救援・地域安全・人権・平和・国際協力・国際交流・ 男女共同参画・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ( )	
活動目的 (規約等に定めるもの)	倉敷市保健所に収容された猫の保護、猫の里親探し等を目的とし また、TNR さくらねこ活動が本会の目的および活動となる。	

様式第 4 号

設立以来の主な活動実績	<p>平成 25 年度より、本格的に倉敷市保健所の収容猫の保護活動を始め、5 年間で約 1,000 匹の保護猫を譲渡している。</p> <p>近年は、倉敷市保健所と連携し乳み子や子猫が収容された場合は連絡を貰いメンバーで手分けをしてレスキューしている。</p> <p>年間、12 回ほど譲渡会も開催し、保健所主催の譲渡会の手伝いや、またも相談があった多頭飼育の現場への TNR の手伝い等をしている。</p>
現在特に力を入れていること	<p>ミルクボランティア、子猫預かりボランティアの育成、募集。</p> <p>譲渡時の、飼育指導。</p>

2 団体概要と財政状況

団体の活動・業務 (事業活動の概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷市保健所収容の猫のレスキュー</li> <li>・譲渡会開催</li> <li>・TNR</li> </ul>
今後の活動の方向性	<p>ボランティアの人数をもう少し増やし、倉敷市の殺処分の数ゼロを目指します。</p>
最新決算総額 (該当に をする)	<p>100 万円未満・100 ~ 500 万円未満・500 ~ 1,000 万円未満・1,000 ~ 5,000 万円未満・5,000 ~ 1 億円未満・1 ~ 5 億円未満・5 億円以上</p>
定期刊行物	

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	
他 NPO・市民活動団体との協働実績	
企業・団体との協働実績	
行政との協働実績(委託事業など)	<p>倉敷市保健所動物管理係との連携で年間 150 匹前後のレスキュー (乳み子、子猫はほぼ全頭)</p>